

会津駒ヶ岳山頂湿原木道整備について



湿原裸地化回復および木道複線化敷設完了（平成 13 年）



休憩ポイントとなる中門岳デッキ（平成 13 年）

檜 枝 岐 村

日本百名山のひとつである会津駒ヶ岳は、「天上の楽園」とも言われる名峰です。駒の大池周辺には高山植物が群落し、毎年多くのハイカーが訪れています。

山頂周辺の湿原荒廃が進んだ昭和40年代から木道が敷設され、平成5年からは湿原化裸地化回復工事が行われました。また平成14年には公衆トイレを設置し、会津駒ヶ岳の環境保全に取り組んでまいりました。しかし、厳しい自然環境に晒された木道は老朽化が進み、湿原への踏み込みや登山者の怪我が増加しております。檜枝岐村では、貴重な高山植物の保護と登山者の安全確保を目的として、木道の修繕及び待避所となるテラスの新設を進めてまいります。

昭和40年代



昭和50年代前半



平成5年7月～ 裸地化湿原回復工事



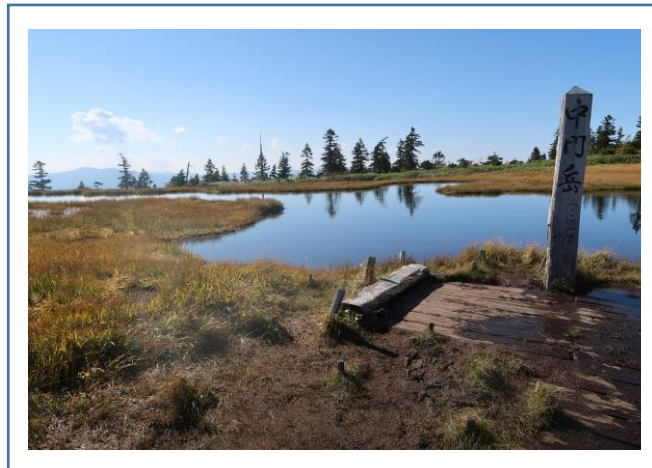
平成14年 公衆トイレ設置（駒の小屋傍）



平成 28 年 9 月の状況

老朽化が進む木道

水没したデッキ



事業の概要

①事業期間

平成 30 年 4 月～令和 5 年 3 月（5 ケ年事業）

※無雪期でヘリコプターが運行できる条件が必要となるため、1 年の事業期間は約 3 ケ月

②事業区間及び内容

- ・会津駒ヶ岳駒の小屋～中門岳の稜線にある木道の敷設（L=3,102m）
- ・中門岳周辺の既存テラス修復及びテラスの新設工事



③事業費

60,000 千円（12,000 千円×5 ケ年）

これまでの事業実績

檜枝岐村ではふるさと納税、企業版ふるさと納税、クラウドファンディング等、さまざまな形で寄附を募り、木道等の整備を行いました。

【平成 30 年度】

休憩用テラス 3 カ所の設置と、木道の一部付替え工事を行いました。



①テラス工事（中門岳、中門大池、駒の稜線）



②木道改修

（会津駒ヶ岳山頂より中門岳方面 約 115m）

【令和元年度】

駒の大池周りの木道を付替え、木道の表面には滑り止めの金具の取り付けを行いました。



会津駒ヶ岳の美しい景観と、かけがえのない自然を守りつつ、登山される方の安全を確保するためにも、事業を進めてまいりたいと考えておりますので、お力添えを賜りますようお願いいたします。